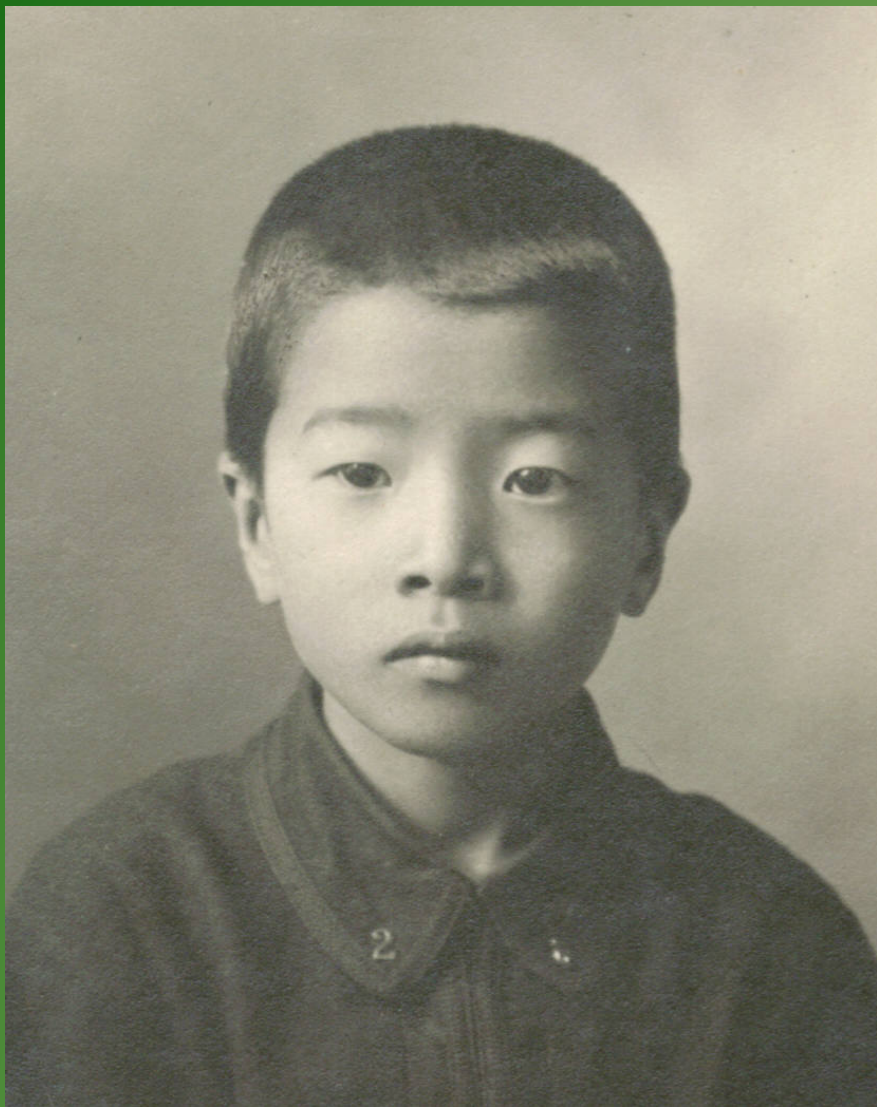


生誕  
上田良二先生  
百年



母とともに(1912年)

生誕  
上田良二先生  
百年



少年時代(1919年)

生誕  
上田良二先生  
百年



成蹊アンサンブル(1931年)

生誕  
上田良二先生  
百年



家族とともに(1934年)

生誕  
上田良二先生  
百年



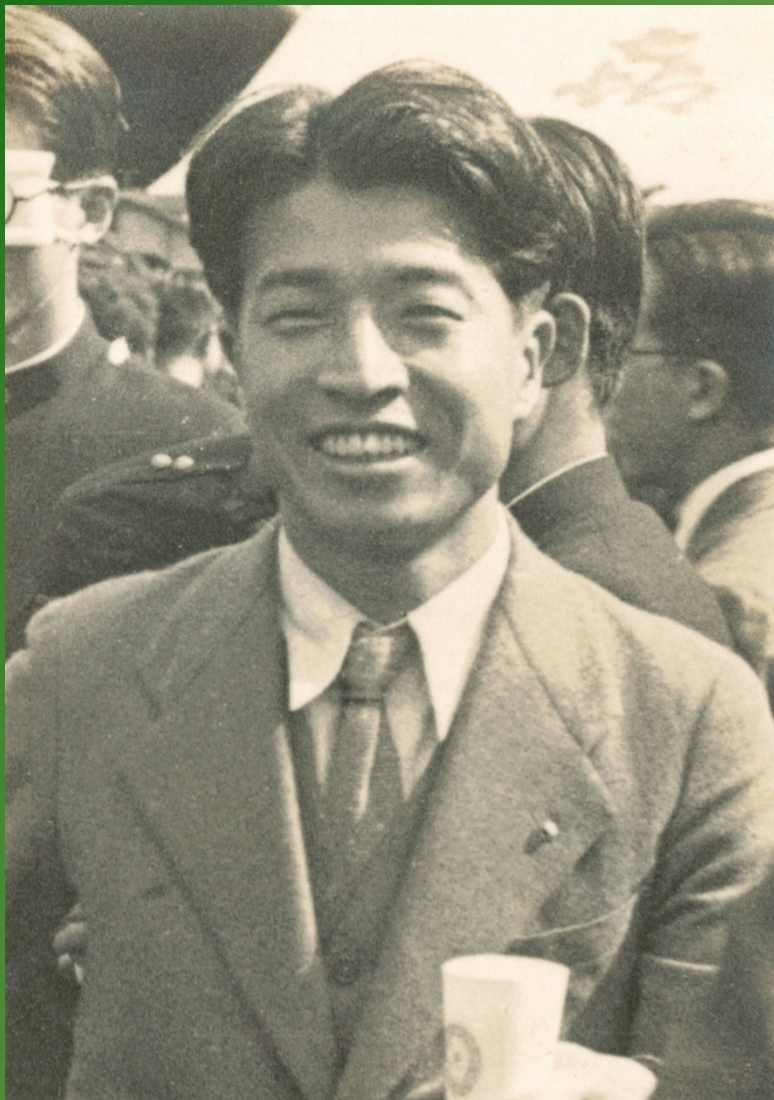
Hans Bohr君を藪蕎麦に案内(1937年4月)

生誕  
上田良二先生  
百年



浅間山スキー(1938年頃)

生誕  
上田良二先生  
百年



小石川植物園にて、東大理学部会(1939年5月)

生誕  
上田良二先生  
百年





西川正治先生とともに(1941年1月)

「私が助手になると間もなく、西川先生は古い電子回折装置を示され、《これはまだ捨てるには惜しいと思うのですが、これで何かできないでしょうか?》と言われた」

生誕  
上田良二先生  
百年



谷川岳にて(1941年)

生誕  
上田良二先生  
百年



新婚当時(1942年3月11日)

生誕  
上田良二先生  
百年



建設中の東山キャンパス(1942年5月17日)

生誕  
上田良二先生  
百年



名古屋帝国大学理学部物理学教室(1942年頃)

誕生  
上田良二先生  
百年



軽井沢万平ホテルにて(1942年夏)

生誕  
上田良二先生  
百年



テニス(1943年7月30日)

生誕  
上田良二先生  
百年



電子回折装置で実験中(1943年)

生誕  
上田良二先生  
百年





湯川秀樹博士来訪(1943年8月17日)

「湯川先生のような研究が《純正基礎研究》、トランジスタやレーザーの発明が《応用基礎研究》、大学の研究の多くが《純正末梢研究》、会社の研究の多くが《応用末梢研究》である」

生誕  
上田良二先生  
百年



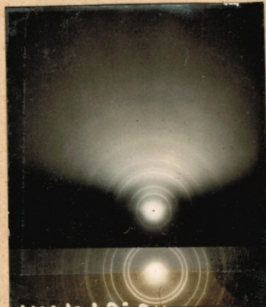
山手通にて、柴田雄次理学部長とともに(1943年頃)

生誕  
上田良二先生  
百年

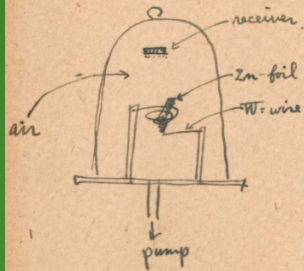
Smokes of zinc (+tungsten). 1944~45.  
by Uyeda and Kimoto.



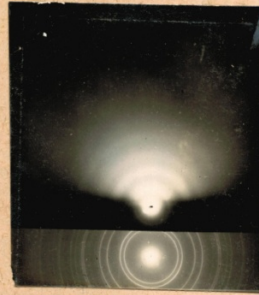
$\alpha$ -type (ZnO)  
30~100 mm Hg



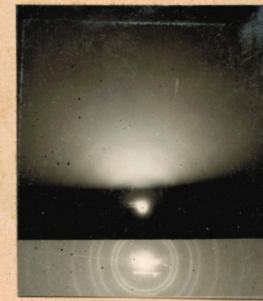
$\beta$ -type (WO<sub>3</sub>)  
10~30 mm Hg



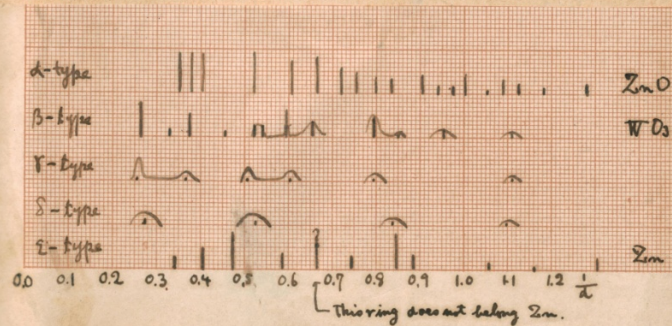
	Colour.
$\alpha$	White. (Yellow when air contains water vap.)
$\beta$	Gray, bluish gray, brown.
$\gamma$	brownish-black, black.
$\delta$	black (like soot).
$\epsilon$	black, metallic luster.



$\gamma$ -type  
5~10 mm Hg.



$\delta$ -type  
Zinc-black.  
0.2~5 mm Hg



### 亜鉛煤の研究(1944~1945年)

「微粒子の研究も源をただせば陸軍第七研の研究課題だった。藤岡由夫先生の御指示でその報告をした時、主任者の竹下俊雄中佐から《将来のために》と激励されたのを思い出す」

生誕  
上田良二先生  
百年



上田研究室(1947年)

生誕  
上田良二先生  
百年



米国科学アカデミー代表団を迎えた初代教授たち(1947年7月30日)

生誕  
上田良二先生  
百年



森野米三、山崎一雄教授とともに(1951年)

「名古屋大学理学部創設の初顔合せで、私は森野さんと気体電子回折の協同研究を約束した。森野さんが着任したら回折図形を出して見せるのだと思うと、わくわくするほど楽しかった」

生誕  
上田良二先生  
百年



研究室にて(1951年)

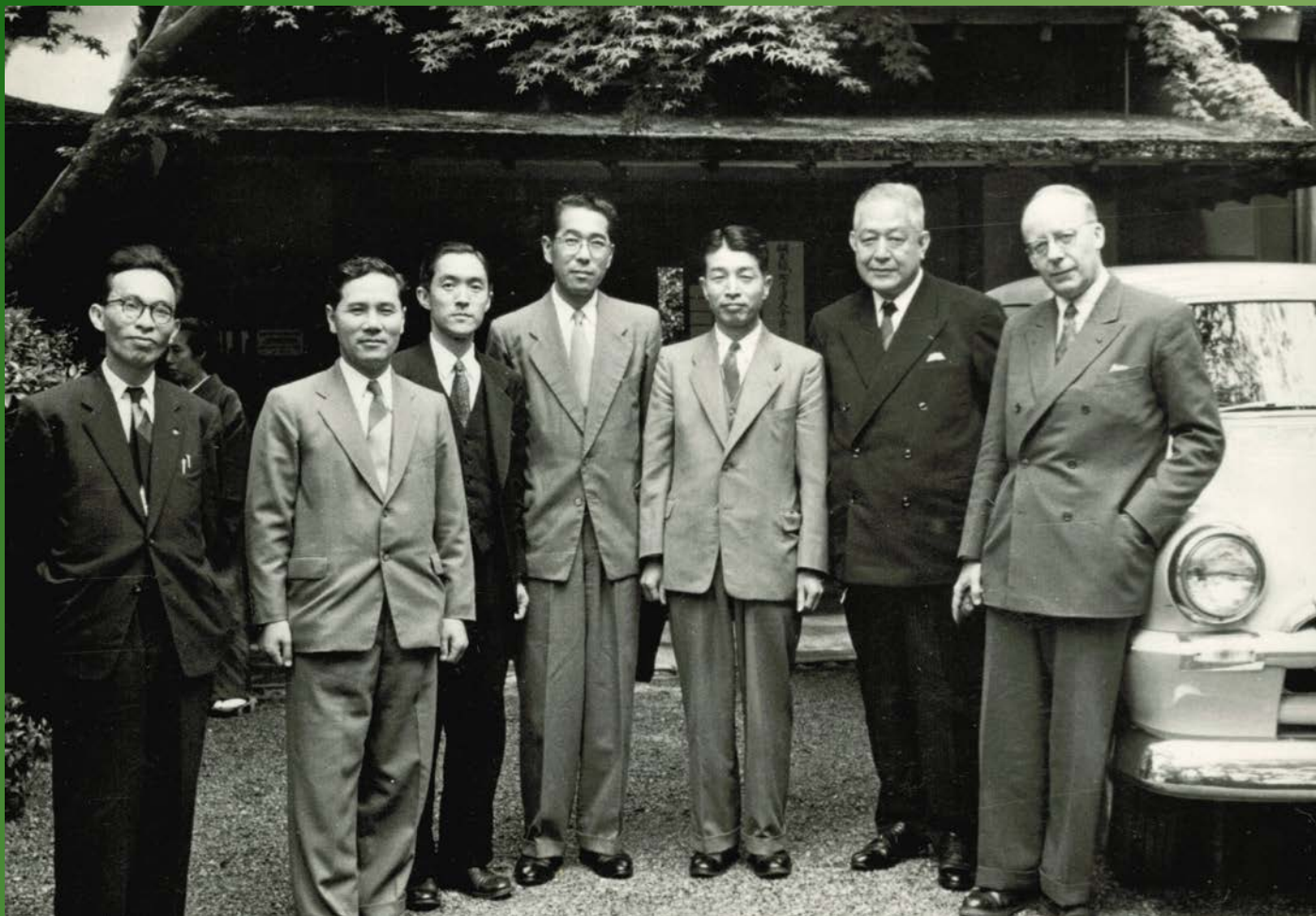
生誕  
上田良二先生  
百年



東山にて(1953年11月)

生誕  
上田良二先生  
百年





Jean Jacques Trillat博士来訪(1955年5月)

生誕  
上田良二先生  
百年



自宅にて、めだか博士こと山本時男教授とともに(1956年1月)

「私は先生に無心し、黒、黄、白のめだかをもらった。教えられるままに黒を白にかけてメンデルの法則を試したり、その子の黒を白にかけて、自然にはいない青めだかを作ったりした」

生誕  
上田良二先生  
百年



上田研究室(1956年3月)

生誕  
上田良二先生  
百年



メリーランド大学にて、Charles Fert博士とともに(1956年4月)

生誕  
上田良二先生  
百年



小川四郎博士とともに(1956年10月)

生誕  
上田良二先生  
百年



高橋重敏技官(後列)とともに(1958年3月)

「よい工作室をつくることが私の最大の抱負だった。  
それをある程度実現したことが、名古屋大学に対する  
私の最大の貢献だったと思っている」

生誕  
上田良二先生  
百年



坂田昌一、有山兼孝教授とともに(1959年)

生誕  
上田良二先生  
百年



オーストラリアにて、三宅静雄、加藤範夫博士とともに(1965年)

生誕  
上田良二先生  
百年





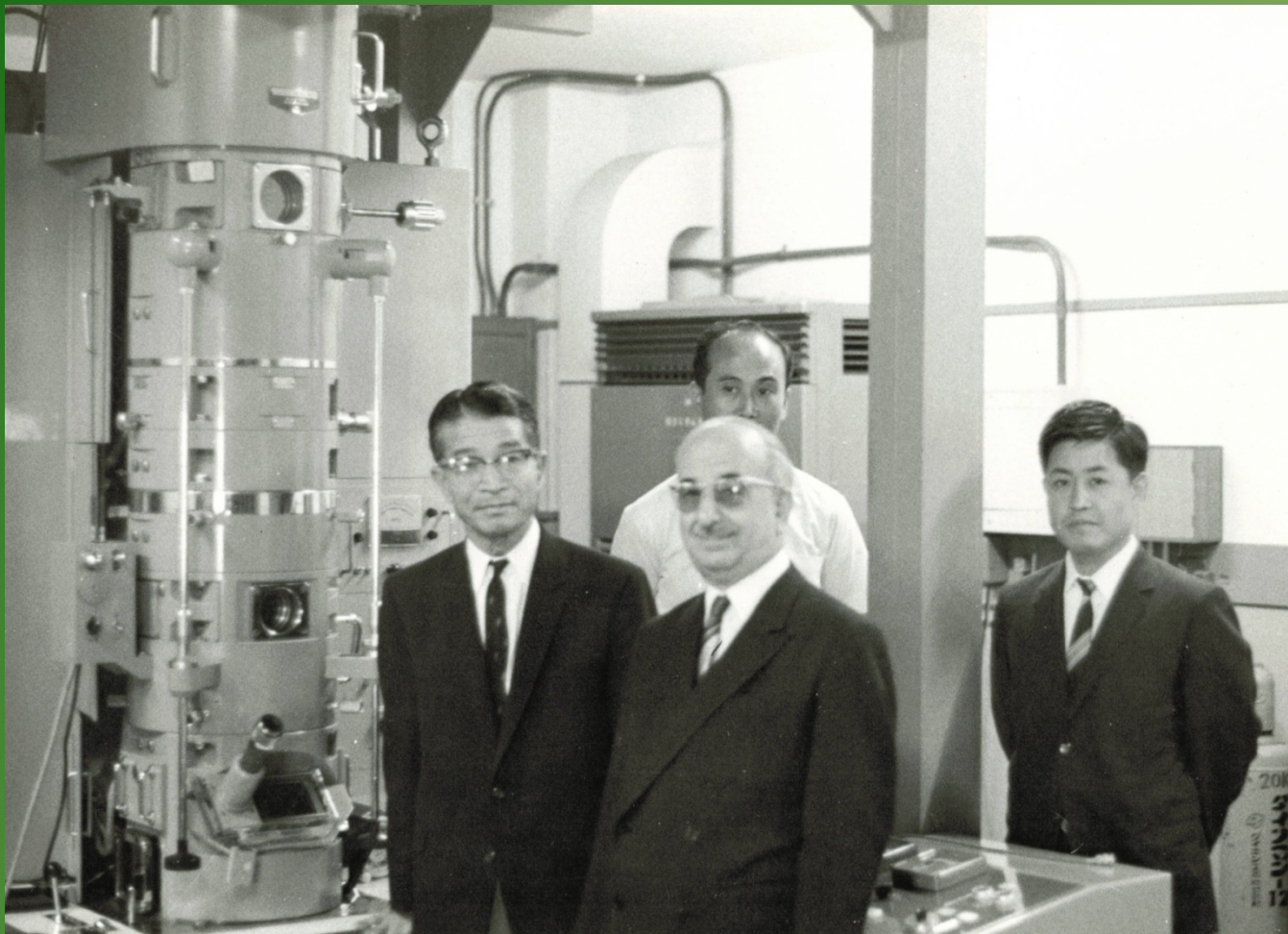
50万ボルト超高压電子顕微鏡完成(1965年)

生誕  
上田良二先生  
百年



50万ボルト超高压電子顕微鏡完成(1965年)

生誕  
上田良二先生  
百年



Gaston Dupouy博士来訪(1965年)

生誕  
上田良二先生  
百年



電子顕微鏡学会シンポジウム(1965年頃)

生誕  
上田良二先生  
百年



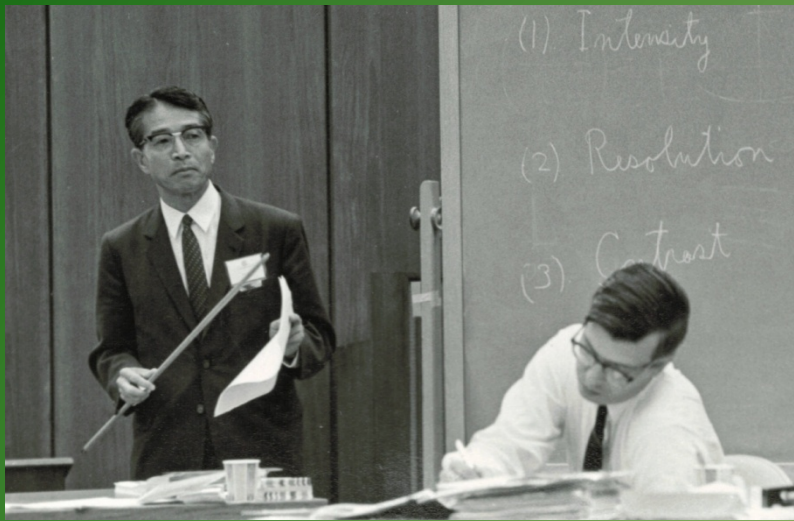
テニス(1966年)

生誕  
上田良二先生  
百年



名古屋大学理学部創設25周年(1967年11月17日)

生誕  
上田良二先生  
百年



ハワイ大学にて、日米高分解能電子顕微鏡会議(1967年11月)

生誕  
上田良二先生  
百年



ローマにて、橋本初次郎博士とともに(1968年)

生誕  
上田良二先生  
百年





ローマにて、Gaston Dupouy博士とともに(1968年)

生誕  
上田良二先生  
百年



上田研究室(1970年)



誕生  
上田良二先生  
百年



日米セミナー(1972年11月)

生誕  
上田良二先生  
百年



上田研究室(1972年)

生誕  
上田良二先生  
百年



工学部における最終講義(1975年2月20日)

生誕  
上田良二先生  
百年



万里の長城にて(1978年)

生誕  
上田良二先生  
百年



大山高原にて、久保亮五博士とともに(1982年8月25日)

生誕  
上田良二先生  
百年



鳥羽にて、第8回上田シンポジウム(1985年1月7日)

生誕  
上田良二先生  
百年





山中湖にて、超微粒子プロジェクト(1986年5月30日)

生誕  
上田良二先生  
百年



テニス(1986年7月8日)

生誕  
上田良二先生  
百年



自宅にて、René Ayroles博士とともに(1986年9月9日)

生誕  
上田良二先生  
百年



瀋陽にて、内川英雄教授とともに(1990年10月5日)

生誕  
上田良二先生  
百年



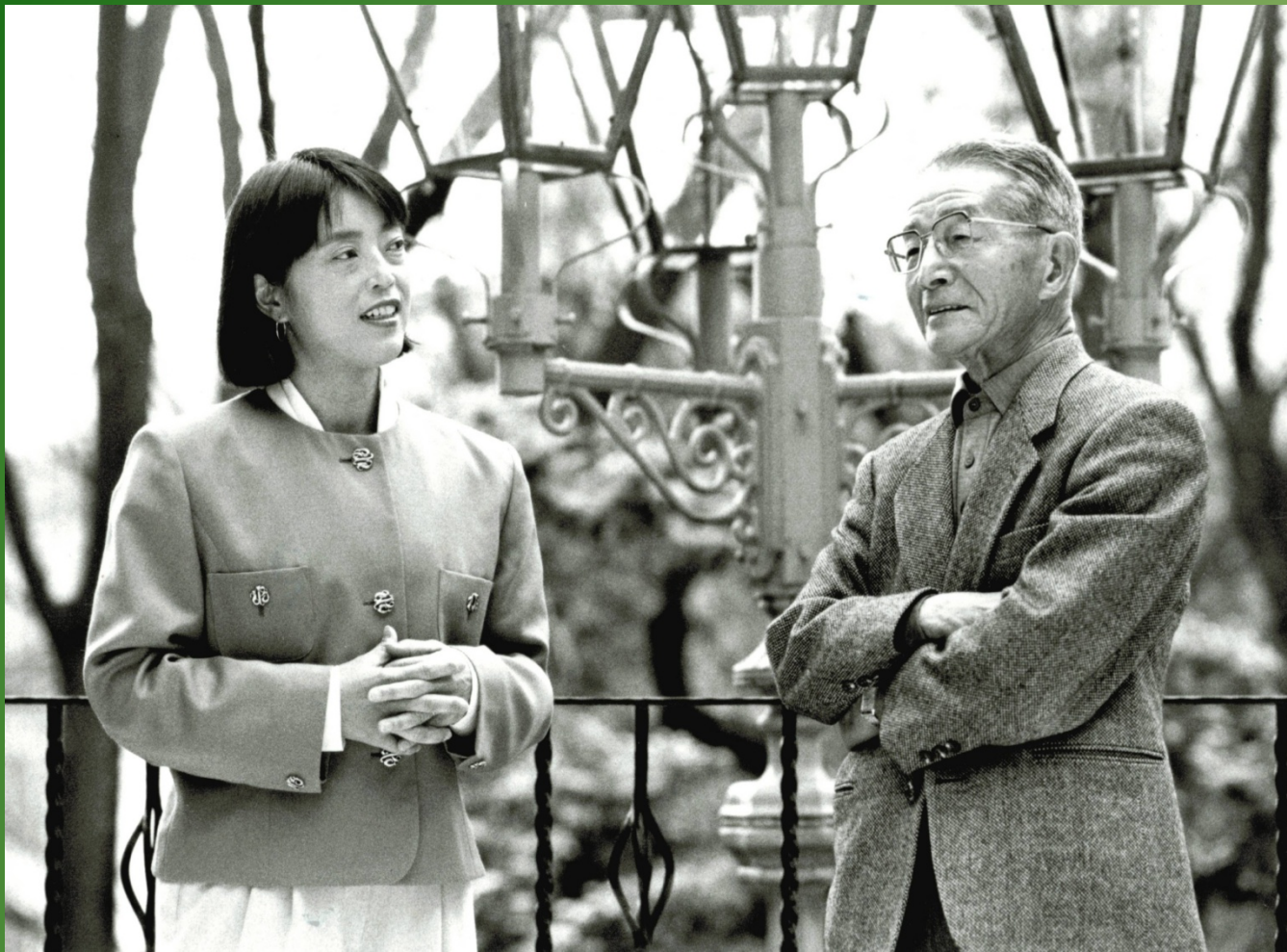
瀋陽工業大学にて講演(1990年10月6日)

生誕  
上田良二先生  
百年



外村彰博士の学士院賞授賞式(1991年6月10日)

生誕  
上田良二先生  
百年



テニスの佐藤直子選手と対談(1993年頃)

生誕  
上田良二先生  
百年



テニス(1994年4月21日)

生誕  
上田良二先生  
百年





伏見康治博士、樋口敬二博士とともに(1994年4月23日)

生誕  
上田良二先生  
百年



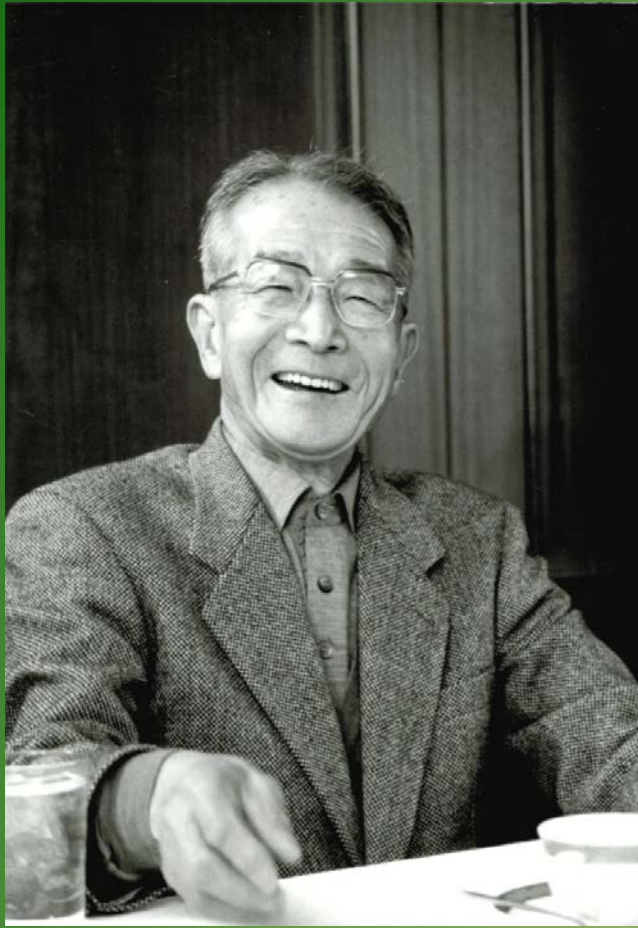
外村プロジェクトシンポジウム(1994年5月24日)

生誕  
上田良二先生  
百年



飯島澄男博士の朝日賞授賞式(1997年1月20日)

生誕  
上田良二先生  
百年



「私は自然の研究を宝探しと考えています。神様が万物を創造し給うた時、どこに何をお隠しになったかは、われわれ人間にはわからない。そこで、研究と称して宝探しに出かけるのです」

生誕  
上田良二先生  
百年



「他人の持たない実験技術を身につけ、新しい分野を開拓するのがよい。研究は計画通りには進まないが、努力を続ければ一応は独自の成果が得られる」

「しかし、それで満足してはいけない。一生に一度の大運がめぐってきた時に、それを逃さずにつかむのだ！」

生誕  
上田良二先生  
百年



「研究は客観的推論のみでするものではなく、節目節目で主観的判断をし、五年、十年、あるいは一生を賭けなければならない。それには自信も勇気も要る」

生誕  
上田良二先生  
百年



「若者はもっと夢を描いて、飛躍を試みてほしい。  
それは一種の賭けである。自ら研究者と名乗る者は  
賭けをする勇気を持たなければならない」

生誕  
上田良二先生  
百年



「知力のみ頼ることなく、野蛮で荒々しくなれ。  
賭ける勇気と、賭ければ当たるとの自信と、外れても悔いない楽天性を持ってほしい」

生誕  
上田良二先生  
百年





「日本のどこかに理科が好きで好きで仕方がない先生が集まり、理科が好きで好きで仕方がない生徒を集めて、理科を楽しむ学校を創設できないものだろうか」

生誕  
上田良二先生  
百年



「自然科学に国境はない。世界中で自分に最も適した研究室に行って自分の能力を最大限に発揮すべきだ、と言う人もいる。しかし、私は日本にこだわり続けてきた」

生誕  
上田良二先生  
百年



「さらに60年後には、日本に深い根を張った自然科学が茂り、日本の香りのする自然科学が輸出される日が来るだろう。それが私の描いている明治180年の夢である」

生誕  
上田良二先生  
百年